

平成19年度
八尾市産業振興会議報告書
～ 資料集 ～

平成20年3月

八尾市産業振興会議

資料一覧

(新規・重点施策関連資料)

- 資料 1 商業関連セミナー
- 資料 2 中小企業地域経済振興功績者顕彰制度
- 資料 3 ものづくり集積促進奨励金

(その他施策関連資料)

- 資料 4 中小企業サポートセンター事業
- 資料 5 企業情報データベース化事業
(八尾ものづくりネット)
- 資料 6 商業ネットワーク化支援事業
(八尾あきんどOn-Doネット)
- 資料 7 ビジネスマッチング博 (産業博)
- 資料 8 産官学関連セミナー
- 資料 9 職業体験関連情報紙発行事業
- 資料 10 異業種交流グループ等新製品・新技術開発支援事業
- 資料 11 ものづくり受注商談会
- 資料 12 商業共同施設設置補助金
- 資料 13 地域商業活性化事業補助金
- 資料 14 空き店舗活用促進事業補助金

商業関連セミナー

◆ 商業者セミナー『八尾市の商業について語り合いませんか？』

趣旨・経緯

商店街、市場の深刻な状況を鑑み、商業活性化について時間をかけた議論を行うため、平成14年度より実施してきた商業者セミナー「ちょっとの工夫で商売繁盛!？」に代わり、新たに実施。所属する団体、組織にとらわれず、地域の商業活性化について考え、相互連携の方向性について模索することを目的とする。

<第1回>

実施日 平成20年2月15日(金)

内容 ① 講演「次の世代に何を残せるか？」((有)三好商店 代表取締役 三好 岩雄氏)
② 意見交換、検討

参加者 39名

<第2回>

実施日 平成20年3月14日(金)

内容 ① 「第10回八尾商業まつり」について考えませんか？
② 各団体の活動紹介① ~八尾市商業協同組合~

参加者 28名



中小企業地域経済振興功績者顕彰制度

【制度創設】

平成19年10月15日

【事業目的】

商業、工業、農業並びに労働等の各産業分野において、全国的な評価を受けるなど八尾市の経済振興に大きな功績のあった団体や個人を顕彰し、その功績を称えることにより、企業活動の意欲を喚起することはもちろん、八尾市民の方々に身近に存在する素晴らしい企業や個人のことを知っていただき、八尾市の産業に対する理解を深めてもらうことを目的とする。

【顕彰された企業】

顕彰された企業名	功績の概要
アイセル(株)	2007元気なモノ作り中小企業300社 に掲載
誓和工具(株)	躍進するKANSAIモノ作り元気企業 に掲載(2007年3月)
(株)塚谷刃物製作所	2007元気なモノ作り中小企業300社 に掲載
帝国チャック(株)	2006元気なモノ作り中小企業300社 に掲載
(株)中田製作所	2007年 第2回 ものづくり日本大賞 製品技術開発部門 優秀賞を受賞
(株)ニシムラ	昭和51年 内閣総理大臣賞 を受賞(第2種無災害記録達成) 平成12年 第4種無災害記録達成
富士電子工業(株)	2006元気なモノ作り中小企業300社 に掲載
(株)レザック	2006元気なモノ作り中小企業300社 に掲載

ものづくり集積促進奨励金

【制度創設】

平成19年10月1日

【事業目的】

市内産業集積の維持発展のために、製造業者の市内での工場等の設置に対し奨励措置を講じることにより、本市での工場等の立地を促進し、また工業生産施設が集積する地域での円滑な生産活動を確保することにより、雇用の創出、産業振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。

【対象事業等】

[対象者] 製造業を営む者

[対象事業] 延床面積500㎡以上の工場等の建築又は購入

[対象地域] 工業専用地域、工業地域、準工業地域

[対象資産] 工場等を建築又は購入するにあたって投資した土地、建物、償却資産のうち機械装置

[奨励金額] 対象資産にかかる固定資産税、都市計画税の1/2以内

[交付期間] 5年以内

【指定事業数】

平成20年3月末現在 13件

(うち市外企業 4件、市有地購入企業 3件)

中小企業サポートセンター事業

—事業概要—

中小製造業の研究・技術開発、製品開発、経営革新、人材確保・育成などの相談窓口を設置し、大学・公的支援機関への橋渡し、公的支援制度の紹介や企業間連携を図りながら、専門のコーディネータによる相談・アドバイスをを行った。

また、技術・経営の高度化のためのセミナーの開催や研究会活動、産学官連携事業を行った。

今年度は新たに人材確保や工場管理等に関するコーディネータを迎え入れたことで、(5名→7名体制へ)支援内容が手厚くなった。

I. 相談事業

相談総数 1,296件 (内訳)技術相談 795件、人材相談 501件 (3月末現在)
(※平成18年度 年間332件)

【相談内容】

加工技術に関する相談、公的支援制度認定申請に関する相談、工場管理に関する相談人材確保・育成に関する相談、特許相談(専門相談員)

II. セミナー開催

全15回開催 413名参加

1) セミナー開催事業

(1) 土曜特別セミナー 4回開催 110社 163名参加

【内容】

製造業の技術の高度化につなげるため、加工技術の今後の方向性や動向について、実際の加工事例も交えながら解説・啓発を行った。

(2) ものづくり勉強会 5回開催 60社 78名参加

【内容】

テキスト『加工技術データファイル、基礎編、特殊加工』をもとにした、加工技術に関する系統的な連続勉強会を開催した。

(3) 経営革新セミナー 3回開催 71社 77名参加

【内容】

中小企業の人材確保・育成の課題について検討し、その解決に向けた経営革新の意義についてのセミナーを大学・高校や関係機関の関係者を講師として招いて開催した。

(4) 実技セミナー 2回開催

2月2日(土)・9日(土) 機械加工(基礎)セミナー 参加者数 のべ20名

【内容】

市内企業の人材育成支援の一環として、機械加工の基礎知識習得のためのセミナーを開催。

(5) その他 1回開催

【内容】

企業OB人材活用による企業経営課題解決の事例紹介と企業 OB 組合の活動紹介等を 近畿経済産業局との共催により開催した。

Ⅲ. 産学連携・研究会活動事業 他

1)「八尾バリテク研究会」 全7回開催 のべ151名参加

加工業のバリの課題解決のための研究会の開催。関西大学との産学連携を軸に展開。

平成19年度は第一期、二期研究会のメンバー(16社)に、新規企業(5社)を加えて、21社で開催。関西大学の北嶋教授の指導の下に、会員企業の工場見学と現場においてバリの課題解決に向けての検討をおこなった。

なお、今年度は研究会の自主的運営に向けて幹事会を発足させ 4 回の幹事会を開催した。

研究会の成果としては、研究会のメンバーから、国の戦略的基盤技術高度化支援事業に1社が事業委託の採択を受け、大阪府基盤技術高度化支援事業補助金に1社が採択された。

2)「八尾レーザー微細加工研究会」 全3回開催 のべ83名参加

八尾レーザー微細加工研究会は、大阪大学接合科学研究所の阿部信行准教授の指導のもと 15 社の中小企業の参加により実施。レーザー装置を保有している大学や研究機関等を訪問見学し実習も兼ねた体験学習を通じてレーザー技術の開発・応用利用の動向を学ぶことを活動の中心としてきた。平成19年度はレーザーの中小企業への啓発のために、研究会をオープンにしてセミナー形式にて実施した。

研究会の成果として、平成18年度に国の地域新生コンソーシアム研究開発事業の事業採択を受けた1社が19年度も継続して事業を実施しており、また、府の地域支援事業助成金に1社が事業の選定を受けた。

3)その他産学官連携事業

(1)立命館大学との産学連携

11月27日(火)立命館大学との産学連携事業 参加企業数 20社

場 所:立命館大学 草津キャンパス内「ローム記念館」

内 容:市内中小企業が立命館大学びわこ・くさつキャンパスに出向き、先生方や学生に自社の技術・製品をPRするための展示・交流の場を設けた。

(2)国立奈良工業高等専門学校との産学連携

① 市内製造業の生産の高付加価値化への一助のため、「組み込みシステム技術者養成講座」、「金属加工系技能者向け講座」への参加の呼びかけを行った。(市内企業からそれぞれの講座に8名、6名参加)

② 市内事業所見学会

12月15日(土)奈良高専による市内事業所見学交流事業 参加者数 30名

内 容:奈良高専の教授・学生等が市内ものづくり企業との連携を深めるために、市内企業5社を見学し交流を深めた。インターンシップの受入につながるなどの成果につながった。

4)人材確保・育成事業

(1)八尾ものづくり就職フェア

参加企業 24社 来場者数 221名

日時 2月27日(水)

場所 八尾市文化会館

内容 これからの企業を支える人材の確保を目的として、製造業事業所による合同求人面接会・説明会をハローワーク布施との共催にて行った。また、今後の求人活動のために大学、工科高校等の就職担当者を招待し、出展企業と引き合わせた。

(2) 工科高校との連携事業

内容 大阪府ものづくり人材育成事業「クラフトマンシップ21」事業への協力として、布施工科高校・城東工科高校との連携事業を進めた。

●8月 城東工科高校への市内企業からの熟練技能者派遣への協力

●12月4日(火) 城東工科高校企業見学・交流会への協力 八尾市内企業参加数 11社

●12月7日(金) 布施工科高校PTA主催による企業見学会(4社)へのサポート

(3) 夏休みの中学生製作体験型ロボット教室の開催

参加者数 8名

日時 8月23日(木)、24日(金)

場所 八尾市中小企業サポートセンター

内容 「マテック八尾」と「奈良高専」の協力により、ものづくりへの興味を高めるため、市内中学生向けのロボット工作教室を開催した。

企業情報データベース化事業 (八尾ものづくりネット)

1. 事業目的 八尾市内企業の詳細なデータを行政情報として保有することで、市内企業の経営課題や経営実態を十分に踏まえた適切な行政施策を展開する。
また、企業情報をインターネットで情報発信を行なうとともに自由に検索できる仕組みづくりを行なうことにより、新製品の開発や取引の拡大など、市域企業の経営に役立てる。
2. 事業内容 平成14年7月より「八尾市企業情報データベース」に加えて、新たに「ものづくり見本市」というビジュアルサイトを立ち上げ、「異業種交流データベース」とともに製造業ポータルサイト「八尾ものづくりネット」として情報発信を開始。
3. 対象事業者 市内製造業・生産財卸売業の事業所が対象。
4. 事業経過
- 平成10年度 : 対象となる全事業所の調査、システム開発。
 - 平成11年度 : 登録事業所のうち、公開情報をホームページで発信を開始。
 - 平成12年度 : 未登録全事業所への訪問による加入依頼。約360社が新たに登録。異業種交流グループの調査とシステム設計。
 - 平成13年度 : 異業種交流グループデータベースのネットによる発信を開始。
ものづくり見本市（事業名：高度企業交流システム）のシステム開発と調査。
 - 平成14年度 : ものづくり見本市（ビジュアルデータベース）の発信。
 - 平成15年度 : 掲示板機能追加
 - 平成16年度 : 新製品・新技術紹介、空き工場・空き工場用地情報の紹介サイトの項目追加。
八尾の製造業の英語での紹介、ホームページのリニューアル
5. コンテンツ別登録事業所数等（平成20年3月31日現在）
- (1) 企業情報データベース : 1,175社の詳細なデータベース（うち公開は813社）。
 - (2) 異業種交流データベース : 市内異業種交流11グループの紹介。
 - (3) ものづくり見本市 : 製品・技術のバーチャル展示場、172社が登録。

6. アクセス件数

アクセス件数（単年度累計）	平成19年度（3月末）	304,545 件
	平成18年度	278,696 件

平成19年6月に月アクセス数が過去最高の38,967件を記録。

平成19年4月～平成20年3月の平均月間アクセス件数は、25,379件

商業ネットワーク化支援事業 (八尾あきんどOn - D o ネット)

1. 事業目的 商業者と消費者および行政をつなぐ情報基盤を整備することで、市内及び周辺地域からの市民の購買機会や交流機会を促進し、地域活性化を図る。
2. 事業内容 商業者の登録データを一元管理し、インターネットにより個店情報を発信することで、地域の消費者の利便性向上と個店の振興を図る。
3. 対象事業所 市内で事業を営む小売・卸売・飲食・サービス事業所のうち、市が対象と認めるもの。
4. 事業経過
 - 【平成13年度】：登録に関する意向調査、システム構築など
 - 【平成14年度】：サーバー保守、情報更新など（7月14日発信開始）
 - 【平成15年度】：サーバー保守、情報更新など
 - 【平成16年度】：サーバー保守、情報更新など
 - 【平成17年度】：企画選定方式により委託業者を変更。
10月にトップ・ページのリニューアルを実施。
 - 【平成18年度】：「八尾市農業啓発推進協議会」と連携し、トップ・ページ上に八尾特産物に関する情報サイト「うまいで！食べてや！！八尾特産物」を設置。
 - 【平成19年度】：全登録事業所に対する更新呼びかけ、協賛店募集の企画実施など
5. 平成19年度利用実績

登録事業所数（累計）	1, 002店（平成20年3月31日現在）
月間平均アクセス数	41, 469件（平成19年4月～平成20年3月）
※月間アクセス最高件数	62, 686件（平成19年6月）

ビジネスマッチング博（産業博）

◎ 事業内容

大阪府下7地域で連携し開催した東京開催と、八尾市単独で開催した大阪開催と年2回開催

【東京開催分】(※以下の報告内容は大阪ビジネスEXPO2007全体でのもの)

名 称	大阪ビジネスEXPO2007
会 期	第一日目 平成19年5月17日(木) 午前10時～午後5時 第二日目 平成19年5月18日(金) 午前10時～午後5時
会 場	東京都江東区有明3-21-1、東京ビッグサイト 西3ホール
運 営	大阪ビジネスEXPO2007運営委員会
構 成	「もうかりメッセ東大阪2007 in 東京」(67社・団体) 「めっせdeさかい2007 in TOKYO」(46社・団体) 「河内ものづくりフェア2007」(68社・団体)
後 援	経済産業省関東経済産業局・近畿経済産業局、大阪府 日本貿易振興機構(JETRO)、中小企業基盤整備機構 日本商工会議所、関東商工会議所連合会、大阪府商工会議所連合会 東京商工会議所、東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
出展企業	181社・団体
小 間 数	240小間
来場者数	延べ10,150人
引合件数	9,442件

【大阪開催分】

名 称	ビジネスマッチング博 2007(八尾市産業博)
開催趣旨	ビジネスチャンスの発見と獲得、人脈の拡大、異業種交流の推進、 販路の拡大、より良い情報の収集
会 期	第一日目 平成19年12月4日(火) 午前 10 時～午後 5 時 第二日目 平成19年12月5日(水) 午前 10 時～午後 4 時
会 場	大阪府中央区本町橋2-5 、マイドームおおさか 1階展示場
主 催	八尾市産業博開催実行委員会 (八尾市、八尾商工会議所、大阪東信用金庫)
後 援	近畿経済産業局、大阪府
協 賛	財団法人 大阪産業振興機構 財団法人 日本中小企業福祉事業財団(日本フルハップ)
出展企業	72社・団体
小 間 数	84小間
来場者数	7, 646名
引合件数	4, 620件

産学官関連セミナー

1. 八尾ものづくりイブニングセミナー

- (1) 趣旨・経緯 主として八尾市内の製造業事業者の技能の向上及び参加者相互のネットワークづくりを目的として、八尾市と関西大学の産学官連携事業の第2弾として開催（平成19年度は第4期展開編として2回開催）
- (2) 事業内容 DLC（ダイヤモンド・ライク・カーボン）コーティング
☞ DLC（ダイヤモンド・ライク・カーボン）コーティングは、切削工具、金型、各種部品の機能向上を図ることのできる表面改質技術
- (3) 主催 八尾市・関西大学
- (4) 参加人数 平成19年度 セミナーを2回開催
のべ69名参加

平成19年度 八尾ものづくりイブニングセミナー

「DLC コーティング」フォローアップフォーラム

—ものづくりを支える基盤技術の高度化—(第4期展開編として2回開催)

これまでのイブニングセミナーにおいて形成された大学とのネットワークの展開を図り、ものづくりの基盤技術の高度化を目指す。

	開催日	テーマ	講師等	参加人数
1	平成19年 10月23日	①「DLC／物質・機能・成膜・技術研究会」について ②「DLC膜と成膜技術」 ③「DLCコーティングのいま」 ④意見交換会 「ものづくりを支える基盤技術の高度化を考える。」	①関西大学 化学生命工学部 教授 関西大学産学官連携知財センター センター長 杉本 隆史 氏 ②(財)近畿高エネルギー加工技術研究所 ものづくり支援センター 技術主管 白沢 秀則 氏 ③(有)アイエス技術研究所 副所長 宮崎 忠男 氏 ④関西大学産学官連携知財センター 産学官連携コーディネーター 田中 久仁雄 氏	31名
2	平成20年 2月19日	①「DLC／物質・機能・成膜・技術研究会」 ②「コーティング母剤の熱処理」 ③「AIP法とUBMS法との複合化技術」 ④「DLCコーティングのいま」 ⑤意見交換会 「ものづくりを支える基盤技術の高度化	①関西大学 化学生命工学部 教授 関西大学産学官連携知財センター センター長 杉本 隆史 氏 ②大阪冶金興業(株) 代表取締役 関西大学科学技術振興会 会長 寺内 俊太郎 氏 ③松山技研(株) 技術開発室長 野村 博郎 氏 ④関西大学科学技術振興会 顧問 (有)アイエス技術研究所 所長 池永 勝 氏	38名

を考える。」

④関西大学産学官連携知財センター
産学官連携コーディネーター
田中 久仁雄 氏

職業体験関連情報紙発行事業

1. 経過

平成16～17年度に市と教育委員会が連携し、実施した近畿経済産業局の「アントレプレナーシップ教育事業」の成果を引き継ぎ、地域の商業活性化とキャリア教育推進のため、実施している事業。平成19年度は市立曙川中学校の職業体験実習を商業者が中心となって支援した。

2. 事業目的

市内の中学生が職業体験でお世話になった事業所を情報紙で紹介することにより、市内商業の振興及び地域の活性化を図るとともに、地域産業の次代を担う人材を育成する。

3. 事業内容

市内の商店街、市場等の個店を中心に中学生が職業体験を行い、お世話になった事業所を紹介するための記事を作成。情報紙にまとめて、市内全戸配布（全91,250世帯）を行った。

●平成19年度の実施概要

【実施校】：八尾市立曙川中学校 2年生（生徒数 199名）

【協力事業所数】：122事業所

4. 事業実施主体

「職業体験による商業活性化支援事業実行委員会」（代表者：森川 勝 委員長）の協力により実施した。

●職業体験による商業活性化支援事業実行委員会

【事務局】：八尾商工会議所

【構成】：八尾市商業連盟、八尾市商店会連合会、八尾小売市場連合会、
八尾市（産業振興課）、八尾市教育委員会（指導課）. 実施スケジュール

～11月 トレーニング授業

道徳、ゆとり、総合学習等の時間を用いて、挨拶、マナー等の礼儀作法のほか、情報紙の作成に向けたインタビュー・スキル、紙面作りに関するトレーニング授業を行った。

11月5日～9日 職業体験実習

曙川中学校2年生（199名）が、市内の商店街、市場を中心に5日間の職業体験を行った。

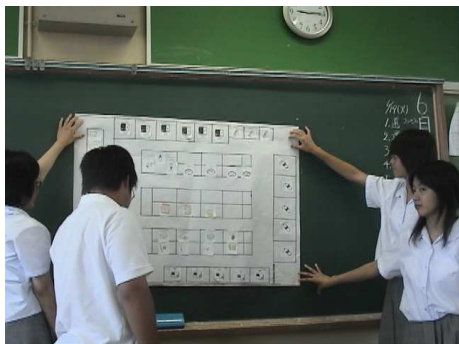
（協力事業所数：122事業所）

2月19日 「職業体験学習交流会」の開催

曙川中学校2年生（199名）が職業体験でお世話になった事業所の方を8教室にお迎えし、「職業体験学習交流会」を実施。小・中連携の取り組みの一環で、校区内の南山本小学校5年生（104名）、高安西小学校5年生（119名）も参加した。

4月18日職業体験情報紙を市内全戸配布

情報紙を朝日、産経、毎日、読売の4大新聞に折り込み、市内91,250世帯に配布した。



トレーニング授業の様子



職業体験実習の様子



「交流会」の様子

異業種交流グループ等新製品・新技術開発支援事業

○事業概要

「ものづくりのまち・八尾」のブランド化を推進するような新製品や新技術の研究開発を行う事業に要する経費の一部を助成する。

・補助対象

製造業事業者(中小企業)で組織する協同組合、研究会、グループ等でその構成員のうち2分の1以上が八尾市内に主たる事業所または支店等を有すること。

・補助率及び補助金の額

補助対象経費の2分の1以内で1事業あたり1,000,000円を限度とする。

○趣旨・目的

異業種グループ等の新技術・新製品の開発に対し助成するもので、八尾市企業のPRや「ものづくりのまち・八尾」のブランド化推進に資することを目的とする。

○実績

申請	2件	計	1,760,000円
採択	2件	計	890,000円

ものづくり受注商談会

【事業概要】

事業名 八尾ものづくり受注商談会2007(逆見本市)

開催趣旨 八尾のものづくり企業の製品・技術の情報発信、販路の開拓・拡大

内容 「売り手側」が出展する通常の見本市ではなく、大手・中堅の「買い手側」企業が出展する逆見本市スタイルの展示会

会期 (夏) 平成19年7月20日(金) 10:00~16:00
(秋) 平成19年11月2日(金) 10:00~16:00

会場 八尾商工会議所 3階 講堂
八尾市本町2-2-8

主催 八尾市、八尾商工会議所

出展企業 延べ23社

来場企業 延べ52社

商業共同施設設置補助金

1. 目的 市内商業団体がその発展向上を図るために商業共同施設を設置する場合、市がその費用の一部を助成することにより、地域商業の振興を図る。

2. 事業内容 市内商業団体が街路灯、アーケード等を設置する経費の一部を助成する。（※補助率は設置施設により異なる。）なお、平成18年度より、商業団体が安全・安心なまちづくりに寄与することを目的として、防犯カメラ、防犯灯等の防犯対応設備を設置した場合、国（補助対象事業費が200万円以上の場合）又は大阪府（補助対象事業経費150万以下の場合）と連携し、補助事業を実施している。

3. 平成19年度実績（2件）

事業実施団体	設置施設
八尾市商業協同組合（御坊前地区）	・アーケードの改修 ・防犯カメラ（12台）の設置
八尾市商業協同組合	・AED（自動体外式除細動器）（1台）の設置

4. 補助金等の内訳

- (1) アーケード改修工事及び防犯カメラ設置事業（事業費総額：4,473万円）については、市の補助金（補助率15%、アーケード500万円、防犯カメラ47万円）に加え、国の補助金（補助率2分の1、2,236万5千円）が交付された。
- (2) AED設置事業（事業費総額：31万7,100円）については、本市において設置を希望した上記の団体に対し、大阪府商店街振興組合連合会を通じ、国（15万8,550円）、府（6万円）の補助金が交付され、市からも4万円を交付した。なお、大阪府商店街振興組合連合会を通じて、府内29商業団体に、31台のAEDが設置された。

地域商業活性化事業補助金

1. 目的 商店街や小売市場等が地域社会に向けて行う活性化事業に対し、その事業に要した費用の一部を補助することで、商業団体の発展と住民福祉の向上に寄与する。
2. 事業内容 商業団体が行うソフト事業について、市よりその経費の2分の1を補助する。（上限：1団体あたり年間54万円）なお、補助金の交付後、大阪府（大阪府商店街等活性化支援事業補助金）より2分の1の間接補助を受けている。

3. 平成19年度実績（10件）

事業実施団体	事業名 及び 事業内容	
JR 八尾駅前商業協同組合	ふれあい昔遊び	商店街が主体となって昔から受け継がれてきた遊びを再現し、地域の子ども、大人のふれあいを図るとともに安全・安心なまちづくりに寄与した。
	花いっぱい運動	老人会や高校生グループの協力により、駅前花壇の植え込み整備と域内の美化運動を行った。
高安駅西整備振興会	パソコン教室と美化活動	商店会会員と地域住民のIT技術の向上のため、パソコン講習会を開催。あわせて会場となる公園内の清掃美化活動を行った。スローガンは「みんなで築こう安全できれいな高安のみらい」。
	クリスマスのイルミネーションと防犯キャンペーン	駅前交番東側にクリスマスのイルミネーションを設置。本年度は八尾警察署、自治推進課等の協力を得て、ひったくり防止カバーを配布した。
高安駅前商店会	高安駅前商店会 夜店祭り	地域住民とのふれあいイベントとして、昨年復活した夜店祭を引き続き開催した。
ペントモール八尾商業協同組合	ほんもののラクダと写真を撮ろう！！	八尾河内音頭まつりの日程にあわせ、親子連れ来街者を対象に本物のラクダに乗ってもらい、希望者には記念撮影を行った。
山本南商業振興組合	夏まつり夜店	町会や小学校のPTAと連携し、地域の子どもや商店街の買い物客を対象とした夜店まつりを開催。模擬店、ゲームコーナー等の出店により、子ども、大人に一夏の思い出を提供した。
	おすもうさんともちつき大会	陸奥部屋力士と来街者の餅つきによる交流、力士と子どもの相撲取組、記念撮影などを行った。
八尾市商業協同組合	わんぱくちびっ子カーニバル	商店主が子ども向けに露店を出店、子ども会等を通じて校区内の子どもたちを招待した。本年度は八尾警察署、八尾市消防本部の協力により、白バイ、ミニ消防車の記

		念撮影コーナーを設置し、子どもたちに好評だった。
	お速夜市イベント	伝統あるお速夜市を復興させるため、毎月 11 日、27 日に「お速夜市セール」を開催し、セールの開催にあわせて付近の寺社と連携した「はがき供養」や「お速夜寄席」を行った。高齢者にとって親しみのある商店街をめざしている。

空き店舗活用促進事業補助金

1. 目的 空き店舗等を活用し、活性化事業を行う商業団体に対して、その事業に要した経費の一部を補助することにより、商業団体の育成及び地域商業の振興を図る。
2. 事業内容 商業団体が行う空き店舗対策事業の経費（賃借料、改装費等）に対し、市より2分の1の補助を行う。なお、補助金の交付後、大阪府（大阪府商店街等活性化支援事業補助金）より2分の1の間接補助を受けている。

3. 平成19年度実績（1件）

事業実施団体	事業名 及び 事業内容	
JR八尾駅前商店会	魅力ある店舗の誘致 （飲食店）	商業集積としての魅力を高め、消費者の利便向上を図るため、商店街の空き店舗に新店舗を誘致した。